

CHR Newsletter

CENTER FOR NATURAL HAZARDS RESEARCH, HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学 広域複合災害研究センター

Vol.10 October 2022 - March 2023

■2023年度の組織体制

2023年4月1日付の人事異動をお知らせします。

- ▶兼務教員(退任) 鮫島良次特任教授(農学研究院)
- ▶兼務教員(退任) 戸谷剛教授(工学研究院)

退任のあいさつ

鮫島良次特任教授

2023年3月末をもって、農学研究院・生物環境工学分野を退職しました。CNHRでは多くのことを勉強させていただきました。ありがとうございました。CNHRの益々のご発展をお祈りしております。

■活動報告

● 北海道大学定例記者会見

2022年10月20日に開催された第6回北海道大学定例記者会見に、山田孝センター長と岡田成幸北大名誉教授/センター客員教授が出席しました。会見では、「海溝型地震の被害想定減災〜北海道で巨大地震が起こったら〜」と題した発表を行い、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に対する被害想定の概要やその意義について説明するとともに、11月2日に釧路で開催予定のCNHR等主催シンポジウム(終了;ニュースレターVol.9で詳報)の紹介を行いました。会見での発表内容はメディアでも報道されました。



(写真提供:北大広報課)



定例記者会見の様子

● 大学院共通科目「突発災害危機管理論」開講(終了)

CNHR所属教員と外部講師によるオム二バス形式で大学院共通科目「突発災害危機管理論」を開講しました(2022年10月6日~2023年1月19日)。コロナ禍ということもあり、一部オンライン講義を活用しながら全15回の講義を実施しました。

■活動報告

● 令和4年度活動報告書刊行

令和4年度のCNHRの活動を取りまとめた活動報告書を3月31日に刊行しました。報告書はCNHRの以下のwebサイトで閲覧できます。

https://www.cnhr.info/annual-report

● 大学院共通科目「国土保全学総論 |開講

CNHR所属教員と非常勤講師によるオムニバス形式で大学院共通科目「国土保全学総論」を全15回(4月13日~8月3日,毎週木曜日)にわたって開講します。我が国の国土の成り立ちを踏まえ,国土保全と地域保全の重要性と必要性を講義し,実例に即して課題から解決策を導く過程を通して実践力のある人材の育成を図ります。講義の聴講を希望される方は事務局までご相談ください。

● STV防災ノート監修

札幌テレビ放送(STV)が制作し、4月20日に発行された道内の小学生向け防災ノート「ポケットどさんこくん」の監修をCNHRが行いました。子どもたちの防災知識習得の手助けとなると同時に、保護者の方と防災について会話してもらうきっかけとなるものです。

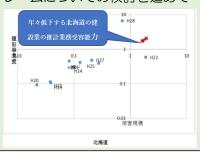
■研究者紹介

山口 真司(やまぐちしんじ)

広域複合災害研究センター 特任教授

広域複合災害研究センターの活動も5年目になり、これまでの研究成果を踏まえ、喫緊の課題である日本海溝・千島海溝型地震への対応を中心とした来年度から5年間での研究活動フレームについての検討を進めて

います。また,全国に 比べ高齢化・少子化が 著しい災害復旧・復興 に欠かすことのできな い建設業の災害時にお ける維持や活動方策に ついての研究を行って います(右図)。



北海道大学 広域複合災害研究センター

〒060-8589 北海道札幌市北区北9条西9丁目

Tel: 011-706-3882 Fax: 011-706-4695 Email: cnhr-unei@cen.agr.hokudai.c.jp ホームページ: https://www.cnhr.info/

■メンバー活動報告

本語	■メンバ-	一活動報告		
### ### ### ### #####################	名前	所属·役職	専門	最近の活動内容(研究課題など)
佐々木黄信 集中研究院・推載技 本材工字 災害発生時の関係へ移り利用に関する研究 塩井美育 量子研究院・准載技 砂筋学 山地流域における災害後の地形変化の把退と予測 厚井島市 間とファー島 砂筋学 公山頃火または地間に伴う大規模上砂生産イベン/使の土砂・資本制御に関する研究 柱 黄也 量子研究院・物数 砂筋学 山地小流域における水支を置ねよび崩壊・地子ペラを上手が頂に関する研究 景 秀洋 工学研究院・教授 労用工学 財本新に対ける利車支配ともによる別は建立の変化や何深過会・河道度動のカルニズム 成原 字 工学研究院・教授 交通工学 対すが対ける利車支援を持たさんのログラルラではではいは関や線のが具体を変われたからいます。 水原 字 工学研究院・教授 交通工学 対すが対ける列車支援を持たさんのログラルランスラでは、対域のできませんかった。とのでは、対域のでは、対域のできませんできませんでは、のは、対域のできませんできます。 水田開記 工学研究院・教授 交通工学・事態を重要と関係とたまた。これのでは、対域の関係を選出をしたった。 山田朋人 工学研究院・教授 水文学 地域を設しましました。これのおりつのできまり、できまり、のは、対域のできまり、できまり、のは、できないのできまり、できる、 山田 由 日 工学研究院・教授 水文規模 大気機構 ・変数学 地域研究と上水ル以入りが研究関係との認らか研究・研究・研究・研究・研究・研究・対域に、関係を設定が開始に関する研究・ ・技術が構造した。大規の関係の主要が設施の対域の研究・ ・変数を対して、対域の対域の関するのできの表別を設定して、のが、対域に、関連を対域の関係を表した。 が設要す 工学研究院・教授・教授 地域学 大会域を到まりましまりまりたまし、関連を設定した。 地域を設定したましまりまれたが、対域の対域に関するは、があるに、対域の関係を表別とした。 は対域の関係を表別とした。 を設定して、対域のよいでもれる関係の関係を認定と関するとして、対域のよいでもれる実施の関係を表別として、対域のよいでもれると関するとして、対域のよいでもれると関するとして、対域の関係を表別として、対域の関係を表別として、対域の関係を表別として、対域の関係を表別として、対域の関係を表別として、対域の関係を表別として、対域の関係を表別として、対域の関係を表別として、対域の関係を表別として、対域の関係を表別として、対域の関係を表別として、対域の関係を表別として、対域の関係を表別として、対域の関係を表別として、対域の関	山田 孝		砂防学	
安井寿育 島学研究院・地参授 か助字 山地流域における災害後の地形変化の形態と予測	井上 京	農学研究院·教授	農業土木学	低平地、特に泥炭地における地盤沈下に関する研究
原井高志	佐々木貴信	農学研究院·教授	木材工学	災害発生時の倒流木等の利活用に関する研究
# 責也 農学研究院・動教	笠井美青	農学研究院·准教授	砂防学	山地流域における災害後の地形変化の把握と予測
果 真洋 工学研究院・教授 河川工学 法水師における河水変配と作れよる河水温を含む水のに同中条条・河道変配のケクニズム 取席 亨 工学研究院・教授 交通工学 海路における温度与実践がたわか。COTYがようで増足できない。区間や路線の将京をも変わらか。COTYがようで増足できない。区間や路線の将京をも変わらか。COTYがようで増足できない。区間や路線の将京をも変わらか。COTYがようで増足できない。区間や路線の将京をも変わらか。COTYがようで増足できない。区間や路線の将京をも変わらか。COTYがようで増足できない。区間や路線の将京をも変したが、名が自居するは、名 工学研究院・教授 コル・ナー学 別の元がまを目的とした。非均一なロび・UAV割によるロバストSLAM・注入の提展・日本 目的とした。非均一なロび・UAV割によるロバストSLAM・注入の提展・日本 目がまた。アルリストが自己のでは、名 大文 海 別 本 学 「本の成計で重要を目的とした。非均一なロび・UAV割によるロバストSLAM・注入の提展・日本 目が上にまた。第本システムの自動の情寒方法に関する研究・地域が関係でよった。 「本域域の形形に関する研究・地域が関係でよった。 「本域域の形形に関する研究・地域域では、アス 大文 海 製 学・当水学 かる研究・また。これらの健康・気候 経済の影響についての分野保証が研究 アンド研究院・教授 地盤工学 欠核変化・伸動音楽が比の利益収音を形をしたり入りが開から研究 海路学 工学研究院・教授 地壁工学 欠核変化・伸動音楽が比の利益収音を形成したがより、日本 理学研究院・教授 地理学 地域で対していた。 「本の健康・気候 経済の影響で、「本の設置された定点を対象別側(S-net)を用いた。 「本の健康・大会・教授) リモートセンシスケー 書観別 理学研究院・教授 りたートセンシスケー 書観別 理学研究院・教授 リモートセンシスケー 書観を開発の事業を実施し、国際経証といる、「本の健康・大会の財産のな実施及が災害対応依事者の人材育成に関する研究 第合研究院・教授 シ 大会教学 カー・ 「本の特別とは、「本の教育と生命の災害対応の実際及び災害対応依事者の人材育成に関する研究 本の教授(本の教授) ・ 大き 教授(本の教授) ・ 大き 教授 ・ 大き 教授(本の教授) ・ 大き 教授(本の教授) ・ 大き 教授(本の登集) ・ 大き 教授(一会 本の教授) ・ 大き 教授(一会 本の教授) ・ 大き 教授(一会 本の教授(一会 本の教授) ・ 大き 教授(一会 本の教授) ・ 大き 教授(一会 本の教授) ・ ・ 大き 教授(一会 本の教授) ・ ・ 「本の教養・教授」 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	厚井高志		砂防学	
表現 亨 工学研究院・教授 交通工学 連絡: おけらみ瓜豊ツ本を吹くか。 COTYカケラで減足でない。原格や各種の紹介を非真がケラからかおけるおいではいた。 このでは、原格で見たよいは、原格で見たよいは、原格で見たよいは、アード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	桂 真也	農学研究院·助教	砂防学	山地小流域における水文過程および崩壊・地すべり発生予測に関する研究
永田晴紀 工学研究院・教授 宇宙推進工学	泉 典洋	工学研究院·教授	河川工学	洪水時における河床変動とそれによる河床粗度の変化や河岸侵食・河道変動のメカニズム
水田晴紀 工字研究院・教授 宇宙進進工学 デルの完成を目指しています)	萩原 亨	工学研究院·教授	交通工学	
正文典表記	永田晴紀	工学研究院·教授	宇宙推進工学	
田中岳 工学研究院・助教 水文学 時期流出系の確率応答解析に直側に共来予測システムの合理的な構築方法に関する研究 安成哲平 北極城研究センター・准教授 大気環境科 学園水学 北極城及び周辺域における森林火災及びその大気汚染免生の更別分析と予測に関 学園水学 大気環境科 学園水学 教験 建立学 気候を動に伴ける森林火災及びその大気汚染免生の更別分析と予測に関 学園水学 大学研究院・教授 地盤工学 気候変動に伴う精音等冷地の斜面炎書形態変化の体系化とそのリスク評価に関する研究 渡部要 工学研究院・教授 地盤工学 火山灰質士により造成された癌土地盤の液状化特性 極本雄 文学研究院・教授 人文地理学 地理空間情報を用いた積雪寒冷地の災害時避難に関する研究 一番 理学研究院・教授 火山学 北海道の活動的火山における火山現象の力学的観測研究 経論学 地理学研究院・教授 北海道の活動的火山における火山現象の力学的観測研究 一部連手法の開発研究を実施し、国際流行が完ま液し、国際流行が完けを用いた津波即両予測・汗法の関発研究を実施し、国際流行が完ける所有の 一部連手が 理学研究院・教授 気象学 数値計算・データ解析による気象力学および応用気象学の研究 高橋幸弘 理学研究院・教授 リモートセンシング・雷観測 山口真同 CNHR・特任教授 地域防災・マネンメント学 複合災害発生時の災害対応の実際及び災害対応従事者の人村育成に関する研究 東野信宏 客員教授(北海道立 砂防学 ー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	江丸貴紀	工学研究院·准教授		
安成哲平 北極域研究センター・准教授 大気環境科 学・宮水学 北極域及び周辺域におけら森林火災及びその大気汚染発生の要因分析と予測に関わる研究。また、これらの健康・気候・経済的影響についての分野債断的研究。	山田朋人	工学研究院·教授	水文学	
安成哲学 北極城研究でラター・推教授 学・富水学 わる研究。また。これらの健康・気候・経済的影響についての分野機断的研究。 石川遠也 工学研究院・教授 地盤工学 気候変動に伴う積雪寒冷地の斜面災害形象変化の体系化とそのリスク評価に関する研究 渡部要ー 工学研究院・教授 地盤工学 火山灰質土により造成された盛土地盤の液状化特性 標本雄一 文学研究院・教授 人文地理学 地理空間情報を用いた積雪寒冷地の災害時避難に関する研究 青山 裕 理学研究院・教授 火山学 北海道の活動的火山における火山現象の力学的観測研究 公岡勇市郎 理学研究院・教授 地震学・津波学 広域津波災事軽減に向けて、近年設置された海底地震津波観測網(S-net)を用いた津波即時予測手法の開発研究を実施し、国際誌EPSに投稿する。 福津 將 理学研究院・教授 気象学 数値計算・データ解析による気象力学および応用気象学の研究 超小型衛星を用いた大規模災害の即時的な観測、およびそれを実現する国際連携の構築 山口真司 CN・R・特任教授 地域防災・マネ・ブメント学 複合災害発生時の災害対応の実際及び災害対応従事者の人材育成に関する研究 外合知己 名誉教授(北海道立 総合研究被精・理事) 砂防学 ー 小山内信智 客員教授(政策研究 大学院大学・教授) 砂防学 ー 東野信宏 客員教授(私古屋 都市センター長) 公共経済学 ー 同田成幸 客員教授(株式会社トーコン) 地域防災計画 学(建築系) ー で発売、デンアが割除式会社 ー ー で発育、研究員(アジア航測株式会社) ー ー で発達系売間、研究員(北海道開発局) ー ー	田中 岳	工学研究院·助教	水文学	降雨流出系の確率応答解析に立脚した洪水予測システムの合理的な構築方法に関する研究
渡部要 工学研究院・教授 地盤工学 火山灰質土により造成された盛土地盤の液状化特性 橋本雄 文学研究院・教授 人文地理学 地理空間情報を用いた積雪寒冷地の災害時避難に関する研究 青山 裕 理学研究院・教授 火山学 北海道の活動的火山における火山現象の力学的観測研究 谷岡勇市郎 理学研究院・教授 地震学・ 津波学 広域津波災害軽減に向けて、近年設置された海底地震津波観測網(S-net)を用いた津波即時予測手法の開発研究を実施し、国際誌EPSに投稿する。 稲津 將 理学研究院・教授 りモートセンシング・雷観測 退水・一夕解析による気象力学および応用気象学の研究 園小型衛星を用いた大規模災害の即時的な観測、およびそれを実現する国際連携的投・全観的投・全観ので、 ・ アメント学 複合災害発生時の災害対応の実際及び災害対応従事者の人材育成に関するがメント学研究 東谷知己 名誉教授(北海道立総合研究機構・理事) 砂防学 ー 小山内信智 客員教授(私海道立 総合研究機構・理事) 砂防学 ー 今日出人 客員教授(株式会社ドーコン) 地域防災学 ー 毎日成幸 有身教授(一町)砂砂・地子の状態 術センター、アジア航測株式会社) ー ー 佐野寿建 研究員(アジア航測株式会社) ー ー 伊藤 剛 研究員(北海道開発局) ー ー 村上奏啓 研究員(北海道開発局) ー ー	安成哲平	北極域研究センター・准教授		
橋本雄一 文学研究院・教授 人文地理学 地理空間情報を用いた積雪寒冷地の災害時避難に関する研究 青山 裕 理学研究院・教授 火山学 北海道の活動的火山における火山現象の力学的観測研究 谷岡勇市郎 理学研究院・教授 地震学、津波学 広域津液災害軽減に向けて、近年設置された海底地震津波観測網(S-net)を用いた津波即時予測手法の開発研究を実施し、国際誌EPSに投稿する。 稲津 將 理学研究院・教授 気象学 数値計算・データ解析による気象力学および応用気象学の研究 高橋幸弘 理学研究院・教授 リモートセンシケ・雷観測・起携の機力・アク解析による気象力学および応用気象学の研究 連携の構築・連携の構造・理学研究院・教授 が、中国衛星を用いた大規模災害の即時的な観測、およびそれを実現する国際・連携物で、できた。 東谷知己 名誉教授(北海道立総合研究機構・理事) 砂防学 ー 小山内信智 客員教授(弘海道立会を開発) 砂防学 ー 小山内信智 客員教授(百士会社) 公共経済学 ー 今日出人 客員教授(株式会社)・コンツ 地域防災学 ー ー 御田成幸 名員教授(八月)砂房・地・ソジは 物にジター、アジア航測株式会社) 地域防災学 ー ー 佐野寿聰 研究員(アジア航測株式会社) ー ー ー 伊藤 剛 研究員(読売新聞北海道支社) ー ー ー 村上泰啓 研究員(北海道開発局) ー ー ー	石川達也	工学研究院·教授	地盤工学	気候変動に伴う積雪寒冷地の斜面災害形態変化の体系化とそのリスク評価に関する研究
青山 裕 理学研究院・教授 火山学 北海道の活動的火山における火山現象の力学的観測研究 谷岡勇市郎 理学研究院・教授 地震学・ は水津波災害軽減に向けて、近年設置された海底地震津波観測網(S-net)を用いた津波即時予測手法の開発研究を実施し、国際誌EPSIC投稿する。 稲津 將 理学研究院・教授 気象学 数値計算・データ解析による気象力学および応用気象学の研究 高橋幸弘 理学研究院・教授 リモートセンシ とが・電観測・ 連携の構築 山口真司 CNHR・特任教授 地域防災・マネ ジメント学 研究 丸谷知己 名誉教授(北海道立 総合研究機構・理事) 砂防学 - 小山内信智 大学院大学・教授) 砂防学 - 學野信宏 客員教授(名古屋 都市センター長) 公共経済学 - 今 日出人 客員教授(株式会社ドーコン) 地域防災学 - 個田成幸 客員教授(休式会社ドーコン) 地域防災学 - 佐野寿聰 研究員(アジア航測株式会社) - - 佐野寿聰 研究員(アジア航測株式会社) - - 村上泰啓 研究員(北海道開発局) - -	渡部要一	工学研究院·教授	地盤工学	火山灰質土により造成された盛土地盤の液状化特性
	橋本雄一	文学研究院·教授	人文地理学	地理空間情報を用いた積雪寒冷地の災害時避難に関する研究
程字研究院・教授 津波学 いた津波即時予測手法の開発研究を実施し、国際誌EPSに投稿する。 福津 將 理学研究院・教授 気象学 数値計算・データ解析による気象力学および応用気象学の研究 担モートセンシング・雷観測 連携の構築 担・型・重携の構築 担・型・電量を用いた大規模災害の即時的な観測、およびそれを実現する国際 連携の構築 単域防災・マネ ジメント学 では、一	青山 裕	理学研究院·教授	火山学	北海道の活動的火山における火山現象の力学的観測研究
高橋幸弘 理学研究院・教授 リモートセンシング・雷観測 連携の構築 超小型衛星を用いた大規模災害の即時的な観測、およびそれを実現する国際連携の構築 山口真司 CNHR・特任教授 地域防災・マネジメント学 複合災害発生時の災害対応の実際及び災害対応従事者の人材育成に関する研究 研究 丸谷知己 名誉教授(北海道立総合研究機構・理事) 砂防学 ー 小山内信智 客員教授(政策研究大学院大学・教授) 一 奥野信宏 客員教授(名古屋都市センター長) 公共経済学 ー 今日出人 客員教授(株式会社ドーコン) 地域防災学 ー 岡田成幸 客員教授((一財)砂防・地すペリ技術センター、アジア航測株式会社) 学(建築系) ー 佐野寿聰 研究員(アジア航測株式会社) ー ー 伊藤 剛 研究員(読売新聞北海道支社) ー ー 村上泰啓 研究員(北海道開発局) ー ー	谷岡勇市郎	理学研究院・教授		
高橋幸弘 埋字研究院・教授 ング・雷観測 連携の構築 山口真司 CNHR・特任教授 地域防災・マネ ジメント学 研究 複合災害発生時の災害対応の実際及び災害対応従事者の人材育成に関する研究 丸谷知己 名誉教授(北海道立総合研究機構・理事) 砂防学 ー 小山内信智 客員教授(政策研究 大学院大学 教授) 一 専野信宏 客員教授(名古屋都市センター長) 公共経済学 ー 今日出人 客員教授(株式会社ドーコン) 地域防災学 ー 岡田成幸 審員教授((一財)砂防・地すべり技術センター、アジア航測株式会社) ー ー 佐野寿聰 研究員(アジア航測株式会社) ー ー 伊藤剛 研究員(読売新聞北海道支社) ー ー 村上泰啓 研究員(北海道開発局) ー ー	稲津 將	理学研究院·教授	気象学	数値計算・データ解析による気象力学および応用気象学の研究
山口真司 CNHR・特任教授 ジメント学 研究 丸谷知己 名誉教授(北海道立総合研究機構・理事) 砂防学 一 小山内信智 客員教授(政策研究大学・教授) 砂防学 一 奥野信宏 客員教授(名古屋都市センター長) 公共経済学 一 今日出人 客員教授(株式会社ドーコン) 地域防災学 一 岡田成幸 客員教授((一財)砂防・地すべり技術センター、アジア航測株式会社) 地震防災計画学(建築系) 一 佐野寿聰 研究員(アジア航測株式会社) 一 一 伊藤剛 研究員(北海道開発局) 一 一 村上泰啓 研究員(北海道開発局) 一 一	高橋幸弘	理学研究院·教授		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
水白田之 総合研究機構・理事) 砂防学 一 小山内信智 客員教授(政策研究 大学院大学・教授) 砂防学 一 奥野信宏 客員教授(名古屋 都市センター長) 公共経済学 一 今日出人 客員教授(株式会社ドーコン) 地域防災学 一 岡田成幸 客員教授((一財)砂防・地すペリ技 術センター, アジア航測株式会社) 地震防災計画 学(建築系) 一 一 佐野寿聰 研究員(アジア航測株式会社) 一 一 伊藤 剛 研究員(読売新聞北海道支社) 一 一 村上泰啓 研究員(北海道開発局) 一 一	山口真司	CNHR·特任教授		
水田内信省 大学院大学・教授) 砂防学 奥野信宏 客員教授(名古屋 都市センター長) 公共経済学 今日出人 客員教授(株式会社ドーコン) 地域防災学 岡田成幸 客員教授((一財)砂防・地すべり技 物震防災計画 学(建築系) 一 佐野寿聰 研究員(アジア航測株式会社) 一 伊藤 剛 研究員(読売新聞北海道支社) 一 村上泰啓 研究員(北海道開発局) 一	丸谷知己		砂防学	_
奥野信宏 都市センター長) 公共経済学 ー 今日出人 客員教授(株式会社ドーコン) 地域防災学 ー 岡田成幸 客員教授((一財)砂防・地すべり技術センター, アジア航測株式会社) 地震防災計画学(建築系) ー 佐野寿聰 研究員(アジア航測株式会社) ー ー 伊藤剛 研究員(読売新聞北海道支社) ー ー 村上泰啓 研究員(北海道開発局) ー ー	小山内信智		砂防学	_
岡田成幸 客員教授((一財)砂防・地すべり技術センター, アジア航測株式会社) 地震防災計画学(建築系) 佐野寿聰 研究員(アジア航測株式会社) ー 伊藤剛 研究員(読売新聞北海道支社) ー 村上泰啓 研究員(北海道開発局) ー	奥野信宏		公共経済学	_
一 一 一 佐野寿聰 研究員(アジア航測株式会社) 一 一 伊藤 剛 研究員(読売新聞北海道支社) 一 一 村上泰啓 研究員(北海道開発局) 一 一	今 日出人	客員教授(株式会社ドーコン)	地域防災学	_
伊藤 剛 研究員(読売新聞北海道支社) - - 村上泰啓 研究員(北海道開発局) - -	岡田成幸			<u> </u>
村上泰啓 研究員(北海道開発局) 一 一	佐野寿聰	研究員(アジア航測株式会社)	_	
	伊藤 剛	研究員(読売新聞北海道支社)	_	
	村上泰啓	研究員(北海道開発局)	_	_
	原田和子	事務	_	_